



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月2日

上場会社名 **ナイス株式会社**

(コード番号：8089 東証・名証第一部)

(URL <http://www.nice.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 取締役社長 平田 恒一郎 TEL：(045) 521-6161

責任者役職・氏名 取締役執行役員 経営推進本部副部長 長尾 秀司

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結（新規）1社（除外）3社

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	191,059	3.9	△ 731	—	△ 1,179	—	△ 712	—
18年3月期第3四半期	183,873	1.0	△ 99	—	△ 377	—	△ 1,560	—
(参考) 18年3月期	262,402	1.4	3,913	△ 5.7	3,541	△ 1.8	2,676	△ 34.9

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	△ 7.16	—
18年3月期第3四半期	△ 15.04	—
(参考) 18年3月期	25.74	25.16

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	196,063	51,163	26.0	515.91
18年3月期第3四半期	174,190	52,894	30.4	514.75
(参考) 18年3月期	170,815	53,824	31.5	530.98

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	278,000	4,000	2,400

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 24円30銭（当第3四半期末の発行済株式数をもとに算出）

平成18年11月15日公表の業績予想と変更ありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

(1) 当四半期（平成 18 年 4 月から平成 18 年 12 月まで）の概況

当四半期の売上高は、住宅資材売上高が順調に伸長したことから、前年同期比 71 億 85 百万円（3.9%）増加して 1,910 億 59 百万円となりました。

損益面については、住宅資材事業は大幅な増益を確保したものの、当期は大型マンションの完成が第 4 四半期に集中していることから、営業損失は 7 億 31 百万円（前年同期は 99 百万円の損失）、経常損失は 11 億 79 百万円（同 3 億 77 百万円の損失）、四半期純損失は 7 億 12 百万円（同 15 億 60 百万円の損失）となりました。

(2) セグメント別の概況

【住宅資材事業】

当四半期は、木材資源の国際的な需給の逼迫から、木材や合板および木質建材が高騰するなど、長期にわたり価格の下落が続いていた業界の流れが大きく変化しました。

住宅資材部門では、従来からの営業網や物流機能の拡充に加え、経営環境が急変するなか、迅速な情報提供により取引先メーカーおよび販売店との関係強化を図りました。その結果、木材、建材・住宅設備機器とも順調に伸長し、売上高は 11.6%増加の 1,345 億 9 百万円となりました。一方、木材市場部門では、木材市場に加盟する木材卸売業者が減少したことなどから 2.0%減少の 211 億 12 百万円となりました。

これらの結果、本事業の売上高は、前年同期比 9.5%増加し 1,556 億 22 百万円となり、通期計画 1,990 億円に対する進捗も 78.2%と計画を上回って推移しました。また、営業利益は増収効果と費用の効率化などにより、15 億 8 百万円（前年同期は 6 億 84 百万円）へと大幅に増加しました。

【不動産事業】

日本銀行の量的緩和政策の解除をきっかけとした金利の先高感と、東京・神奈川などの大都市圏ではすでに顕著となっていた土地価格の上昇とが重なり、お客様の住宅取得意欲は一段と高まりを見せました。

マンション部門では、通期の売上計画 490 億円に対し 488 億 98 百万円相当額（99.8%）が契約済みになりましたが、完成・引渡し第 4 四半期に集中していることから、当四半期の売上高は前年同期比 38.7%減少の 126 億 29 百万円となりました。一戸建住宅部門も、通期の売上計画 84 億円に対して 90.3%相当額が契約済みになりましたが、売上高は前年同期比 6.5%減少の 43 億 55 百万円となりました。管理その他の部門では、マンション管理が堅調に推移したほか、共同事業のため、用地の一部譲渡も実施したことにより、売上高は前年同期比 33.1%増加の 124 億 1 百万円となりました。

この結果、本事業の売上高は、前年同期比 15.0%減少し 293 億 86 百万円となりました。また、完成・引渡しによる売上計上額が少ないことから、営業損失は 4 億 30 百万円（前年同期は、営業利益 10 億 95 百万円）となりました。

なお、事業用地の高騰が続く中で、用地取得の競争は一段と激化しましたが、当四半期末には、次年度以降の物件で 3,800 戸以上（約 2.5 年分）に相当するマンション用地が確保できました。

【建築工事業およびその他の事業】

建築工事業の売上高は、連結子会社の統廃合により 32 億 3 百万円（前年同期比 23.3%の減少）になりましたが、通期売上計画 36 億円に対する進捗は 89.0%となりました。

その他の事業の売上高は、28 億 47 百万円（同 6.1%の減少）となり、通期売上計画 34 億円に対する進捗は 83.8%となりました。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は、主にマンション用地の取得と、第4四半期に完成する建築中物件の増加から、販売用不動産が217億70百万円増加したことにより、前年同四半期末に比べ218億72百万円増加して、1,960億63百万円となりました。

負債は、短期借入金と支払手形及び買掛金の増加などにより、同238億円増加して1,448億99百万円となりました。

純資産は、引き続き自己株式の取得を実施したことなどにより、511億63百万円となりました。なお、当第3四半期までに3,094千株（発行済株式数の2.62%）の自己株式を取得しました。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産	144,066	121,217	22,848	18.8	119,536
現金及び預金	19,096	26,410	△ 7,314	△ 27.7	33,244
受取手形及び売掛金	40,185	37,780	2,404	6.4	34,162
商 品	8,317	5,073	3,243	63.9	5,874
販売用不動産	69,858	48,088	21,770	45.3	41,117
未成工事支出金	764	354	409	115.5	969
そ の 他	5,844	3,509	2,335	66.6	4,167
II 固定資産	51,997	52,973	△ 976	△ 1.8	51,278
有形固定資産	37,288	37,766	△ 477	△ 1.3	36,784
無形固定資産	1,328	1,258	69	5.6	1,190
投資その他の資産	13,380	13,949	△ 569	△ 4.1	13,304
資産合計	196,063	174,190	21,872	12.6	170,815
(負債の部)					
I 流動負債	109,260	84,358	24,902	29.5	79,108
支払手形及び買掛金	44,612	41,517	3,094	7.5	46,434
短期借入金	48,451	29,591	18,860	63.7	17,156
一年内償還社債	1,940	880	1,060	120.5	2,380
そ の 他	14,256	12,369	1,887	15.3	13,137
II 固定負債	35,638	36,739	△ 1,101	△ 3.0	37,674
社 債	4,300	5,240	△ 940	△ 17.9	4,300
長期借入金	18,372	21,161	△ 2,789	△ 13.2	20,685
そ の 他	12,966	10,338	2,628	25.4	12,689
負債合計	144,899	121,098	23,800	19.7	116,782
(純資産の部)					
I 株主資本	51,622	—	—	—	—
資 本 金	22,069	—	—	—	—
資本剰余金	23,415	—	—	—	—
利益剰余金	12,952	—	—	—	—
自己株式	△ 6,815	—	—	—	—
II 評価・換算差額等	△ 671	—	—	—	—
その他有価証券評価差額金	2,520	—	—	—	—
繰延ヘッジ損益	2	—	—	—	—
土地再評価差額金	△ 2,587	—	—	—	—
為替換算調整勘定	△ 607	—	—	—	—
III 少数株主持分	212	—	—	—	—
純資産合計	51,163	—	—	—	—
負債及び純資産合計	196,063	—	—	—	—
(少数株主持分)					
少数株主持分	—	197	—	—	208
(資本の部)					
I 資 本 金	—	22,069	—	—	22,069
II 資本剰余金	—	23,485	—	—	23,444
III 利益剰余金	—	12,381	—	—	14,557
IV 土地再評価差額金	—	△ 1,814	—	—	△ 2,848
V その他有価証券評価差額金	—	2,709	—	—	2,829
VI 為替換算調整勘定	—	△ 1,140	—	—	△ 626
VII 自己株式	—	△ 4,795	—	—	△ 5,601
資本合計	—	52,894	—	—	53,824
負債、少数株主持分及び資本合計	—	174,190	—	—	170,815

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売 上 高	191,059	183,873	7,185	3.9	262,402
II 売 上 原 価	170,266	162,253	8,012	4.9	229,739
売上総利益	20,792	21,619	△ 827	△ 3.8	32,662
III 販売費及び一般管理費	21,524	21,719	△ 194	△ 0.9	28,748
営業利益又は営業損失(△)	△ 731	△ 99	△ 632	—	3,913
IV 営業外収益	548	538	10	1.9	726
V 営業外費用	996	816	180	22.1	1,099
経常利益又は経常損失(△)	△ 1,179	△ 377	△ 802	—	3,541
VI 特別利益	255	105	149	141.9	3,252
VII 特別損失	114	1,064	△ 949	△ 89.2	1,900
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 1,039	△ 1,336	296	—	4,893
税金費用	△ 343	175	△ 518	—	2,154
少数株主利益	16	48	△ 32	△ 66.5	61
当期純利益又は 四半期純損失(△)	△ 712	△ 1,560	847	—	2,676

3. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期（平成19年3月期第3四半期）

（単位：百万円）

	住宅資材 事業	不動産 事業	建築工事 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	155,622	29,386	3,203	2,847	191,059	—	191,059
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	912	201	211	864	2,189	(2,189)	—
計	156,534	29,587	3,414	3,711	193,248	(2,189)	191,059
営業費用	155,025	30,017	3,318	3,730	192,092	(301)	191,791
営業利益又は 営業損失（△）	1,508	△ 430	96	△ 18	1,156	(1,888)	△ 731

前年同四半期（平成18年3月期第3四半期）

（単位：百万円）

	住宅資材 事業	不動産 事業	建築工事 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	142,084	34,578	4,178	3,031	183,873	—	183,873
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	719	184	264	872	2,040	(2,040)	—
計	142,803	34,762	4,442	3,904	185,914	(2,040)	183,873
営業費用	142,119	33,667	4,292	4,021	184,101	(127)	183,973
営業利益又は 営業損失（△）	684	1,095	149	△ 117	1,812	(1,912)	△ 99

(参考)平成18年3月期

（単位：百万円）

	住宅資材 事業	不動産 事業	建築工事 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	185,039	68,349	5,020	3,993	262,402	—	262,402
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,126	240	366	1,520	3,254	(3,254)	—
計	186,165	68,590	5,386	5,513	265,656	(3,254)	262,402
営業費用	185,199	63,130	5,188	5,633	259,151	(663)	258,488
営業利益又は 営業損失（△）	966	5,459	198	△ 120	6,504	(2,590)	3,913

【セグメント別売上高の状況】

(1) 当四半期の前年同四半期比増減

(単位：百万円)

事業	部門	当四半期	前年同四半期	増減	増減率(%)	平成18年3月期
住宅資材事業	住宅資材	134,509	120,541	13,968	11.6	157,167
	木材市場	21,112	21,542	△ 430	△ 2.0	27,871
	計	155,622	142,084	13,537	9.5	185,039
不動産事業	マンション	12,629	20,599	△ 7,970	△ 38.7	47,090
	一戸建住宅	4,355	4,659	△ 304	△ 6.5	8,433
	管理その他	12,401	9,319	3,082	33.1	12,825
	計	29,386	34,578	△ 5,192	△ 15.0	68,349
建築工事業	建築工事	3,203	4,178	△ 975	△ 23.3	5,020
その他の事業	その他	2,847	3,031	△ 184	△ 6.1	3,993
合計		191,059	183,873	7,185	3.9	262,402

(注) 木材市場部門とは、当社・市場事業本部が運営する木材市場に出店している木材卸売業者（加盟問屋）の売上高を表しています。

(2) 当四半期の通期売上計画に対する進捗状況

(単位：百万円)

事業	部門	当四半期	通期売上計画	進捗状況(%)
住宅資材事業	住宅資材	134,509	172,000	78.2
	木材市場	21,112	27,000	78.2
	計	155,622	199,000	78.2
不動産事業	マンション	12,629	49,000	25.8
	一戸建住宅	4,355	8,400	51.8
	管理その他	12,401	14,600	84.9
	計	29,386	72,000	40.8
建築工事業	建築工事	3,203	3,600	89.0
その他の事業	その他	2,847	3,400	83.8
合計		191,059	278,000	68.7

【住宅資材部門の商品別売上高】

(単位：百万円)

部門	商品	当四半期	前年同四半期	増減	増減率(%)
住宅資材部門	木材	36,961	32,573	4,388	13.5
	プレカット材	11,568	9,188	2,380	25.9
	建材・住設機器	85,979	78,779	7,199	9.1
合計		134,509	120,541	13,968	11.6

【マンション・一戸建住宅の通期売上計画に対する契約進捗状況】

(単位：百万円)

	当四半期実績			通期売上計画 (D)	進捗状況(%) (C) ÷ (D)
	売上計上高 (A)	契約済未計上残高 (B)	合計 (A) + (B) = (C)		
マンション	12,629	36,269	48,898	49,000	99.8
一戸建住宅	4,355	3,233	7,588	8,400	90.3
合計	16,984	39,502	56,487	57,400	98.4

(注) (B) の契約済未計上残高は、当期（平成19年3月期）に売上計上を予定している建設中のマンション・一戸建住宅のうち、売買契約を締結済みのものです。